



ASAHI University News Letter

vol.139

May 2022

発行日/隔月1日  
編集・発行/朝日大学 総務部



朝日大学HP

## 卒業式で「宮田賞」授与

3月11日(金)と12日(土)、2021年度卒業式(学位記授与式)が  
挙行されました。

また、キャンパス内の桜が開花し新年度を迎えた4月1日(金)と2日  
(土)には、青空のもと本学穂積キャンパス6号館大講義室において  
2022年度朝日大学入学式(春季)が厳粛に挙行されました。



宮田淳理事長から「宮田賞」を受賞した辻すみれさん(東京2020オリンピック フェンシング競技6位入賞)

## 厳粛に入学式を挙行

2022年度入学式(春季)が、4月1日(金)と2日(土)に穂積キャンパス6号館大講義室で挙行されました。

学部、大学院、留学生別科日本語研修課程、歯科衛生士専門学校への入学生577名は、大友克之学長並びに磯崎篤則専門学校長から「入学許可」の宣言を受け、朝日大学での新たなキャンパスライフをスタートさせました。

長引くコロナ禍のため、会場入口では徹底した感染防止策を講じた上で学部、学科別に分散開催としました。新入生1名につき、ご家族1名までの参列を許可。各学部・学科長は新入生に向けて祝意を表したうえで「建学の精神をよく理解して専門的な学びを深めるとともに、実りある学生生活を送ってほしい」とのメッセージを送りました。

「新入生登壇」では、新入生一人ひとりをご家族と共に登壇し、学長・学校長から直接言葉をかけられ、入学記念品が手渡されました。その後、学部・学科長と共に壇上での記念

撮影が行われ、心温まる対応を受けました。

### 理事長からの激励

宮田淳理事長の、「これからの学生生活では、資格取得やスポーツ活動に取り組むこと、国家試験合格に向けて勉学に励むなど、文武両道の精神でそれぞれの夢や目標の実現に向け努力してください。朝日大学には、海外研修、インターンシップ、ボランティアなど、みなさんがそれぞれ抱く夢を実現するためのプログラムが用意されています。朝日大学はそのような学生を教職員一同、全力でサポートします」との激励の言葉が式次第に記載され、新入生全員に配られました。

また、式典では、先輩からの温いメッセージ、各界で活躍の卒業生からは映像でエールが届けられると共に、体育会吹奏楽部のウエルカムコンサートが行われ、入学生を歓迎しました。



入学許可



学歌演奏



学部長・学科長の挨拶



入学式ステージ(記念品贈答と記念写真)



入学歓迎のゲート



学部長・学科長等と記念写真



体育会吹奏楽部の演奏



アドリブ演奏



先輩からのメッセージ

## 歯科医師国家試験、看護師国家試験など合格発表

2022年3月16日に第115回歯科医師国家試験、3月25日には第111回看護師国家試験及び第108回保健師国家試験並びに第31回歯科衛生士国家試験の合格発表がありました。

学生一人ひとりの努力と、教員による個々の学習状況やレベルに応じた、きめ細やかなサポート体制により、高い合格率を達成しました。

今後も、本大学では更なる学修活動の充実と国家試験対策の強化に取り組んでいきます。



### 第115回 歯科医師国家試験

合格率  
(新卒) **80.0%**

全国平均(新卒) 77.1%

受験者数 198名(新卒100名、既卒98名)  
合格者数 109名(新卒80名、既卒29名)

### 第31回 歯科衛生士国家試験

合格率 **100%**

全国平均 95.6%

受験者数 80名  
合格者数 80名



### 第111回 看護師国家試験

合格率  
(新卒) **98.0%**

全国平均(新卒) 96.5%

受験者数 101名(新卒99名、既卒2名)  
合格者数 97名(新卒97名、既卒0名)

### 第108回 保健師国家試験

合格率  
(新卒) **100%**

全国平均(新卒) 93.0%

受験者数 13名(新卒10名、既卒3名)  
合格者数 12名(新卒10名、既卒2名)

## 県内でダブル選定は 本大学のみ

### 「私立大学等改革総合支援事業」に選定される

本大学は、文部科学省高等教育局及び日本私立学校振興・共済事業団が行う「令和3年度私立大学等改革総合支援事業」において「特色ある教育の展開」と「地域社会への貢献(地域連携)」の2つのタイプに、岐阜県内の私立大学で唯一選定されました。

全国の私立大学(592校)で、「特色ある教育の展開」の選定校は84校(申請校数388校で選定率22%)、「地域社会への貢献(地域連携)」の選定校は54校(申請校数155校で選定率35%)でした。

本大学では、建学の精神に基づき、より一層大学改革が推進されることとなります。

## 2023 OPEN CAMPUS

感染症の感染拡大防止と、ご来学の皆様の安全確保のため、事前予約制で開催します。詳細はホームページでご確認ください。

### 歯学部

6月19日(日) 10:30~14:00

7月24日(日)・8月21日(日) 10:00~15:00

教育内容及び入試説明、実習体験、模擬授業、個別相談、学食体験など。歯学部生の一日を体験できます。



### 法学部・経営学部・保健医療学部

5月22日(日)・6月19日(日)・7月17日(日)

・8月7日(日) 10:30~14:00

無料送迎バス、バスツアー運行

学部学科説明、模擬授業、入試・奨学金説明、実習体験(保健医療学部)、キャンパス見学、学食体験など。



## 「名誉病院長」称号授与

朝日大学病院(旧・歯学部附属村上記念病院)の病院長(2012.1~2020.3)を務められた大橋宏重先生に2022年4月1日付けで「朝日大学病院名誉病院長」の称号が授与されました。

このたびの授与は、病院長として、本大学及び本大学病院の運営及び発展への貢献が高く評価されたものです。



名誉病院長 大橋 宏重 教授

## 「名誉教授」称号授与

本年3月末に退職を迎えられた住友伸一郎先生(歯学部教授)に2022年4月1日付けで「朝日大学名誉教授」の称号が授与されました。

このたびの授与は、本大学に多年勤務し、教育・研究上の功績が高く評価されたものです。



名誉教授 住友 伸一郎 先生

## 学生部長へ署長感謝状!!

岐阜県警北方警察署長から、本大学学生部長の都尾元宣教授(歯学部)に感謝状が授与されました。

都尾学生部長は、2019年度から3年間にわたり同署の協議会委員として、警察業務改善のための意見や地域の要望等を提言、本大学及び地域社会と警察とのパイプ役として連携強化に真摯に取り組んだ功績が認められたものです。



北方警察署長から感謝状を授与(都尾学生部長:右)

## 「若手優秀演題口頭発表賞」受賞!!

保健医療学部看護学科小児看護学講座の菅原隆成助教授が、第41回日本看護科学学会学術大会において、口頭発表「演題:肢体不自由者と共に生活する家族の災害対策の実際」を行い、優れた若手研究者に贈られる名誉ある「若手優秀演題口頭発表賞」を受賞されました。

1981年に発足した「日本看護科学学会」は、現在会員数が9,000名を超える大きな学会です。

菅原先生の、益々のご活躍が期待されます。



学部長と学科長と共に(中央が菅原先生)

## 地域活性化の連携協定を締結

### 協力関係を構築してきた北方町との連携

本大学(学長 大友克之)と岐阜県本巣郡北方町(町長 戸部哲哉)は、相互の発展のため、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き持続的・発展的に連携を深めていくことを目的として、「地域活性化に関する包括連携協定」を北方町役場において3月17日に締結しました。

これまでも協力的な関係を構築してきた北方町と新たに連携協定を締結することで、今後、地域が抱える諸課題の解決に向けて相互協力して未来社会を担う人材を育成し、また協働事業を展開することで、地域住民の健康増進にも寄与して参ります。

北方町は、瑞穂市(本大学所在地)の北に位置し、人口18,557人(2021.12現在)。1889年(明治22年)の町村制の実施に伴いスタートした町で、既に120年の歴史があり「古き伝統に育まれた歴史と文化の町」として広く知られています。



北方町と朝日大学が連携協定を締結(戸部町長と大友学長)

## 岐阜県弁護士会との連携

本大学と学術交流協定を結んでいる岐阜県弁護士会との「第13回定例懇談会」が書面開催され、成果報告と本年度共同事業計画について協議が行われました。



2021年度成果報告とし 昨夏開催されたジュニアロースクールの様子で、ジュニア・ロースクール、法教育作文コンクール、少年法シンポジウム等の実施状況が報告され、本年度においても引き続きこれらの事業を継続していくと共に、新たな事業や教育研究面での一層の連携協力を図っていくことが確認されました。また、教育課程の改善に資することを目的とし「法学部及び大学院法学研究科カリキュラム・シラバス」に関する意見収集も実施されました。

県弁護士会との学術交流協定は、岐阜県の法教育推進にかかる事業、判例研究の共同研究事業を積極的に展開していくことで2009年6月に締結されています。

## 「医療経営士養成プログラム」最終講義

穂積キャンパス5号館で、2021年度朝日大学地域社会連携講座「医療経営士養成プログラム」の最終講義が3月25日に行われました。本プログラムは、(株)大垣共立銀行との「産学連携に関する基本協定(2005年3月締結)」に基づき、2018年度から開講している地域連携事業の一つです。

### 「受講証書」が手渡されプログラムが終了

最終講義では(一社)日本医療経営実践協会及び(株)日本医療企画の高垣昌弘氏を講師にお招きして、「SDGs×医療経営」をテーマにご講演いただき、受講生は熱心に講義を受講していました。また、講義終了後には、大友克之学長から受講生一人ひとりに「受講証書」が手渡され本年度のプログラムが無事終了しました。

受講された皆様の、それぞれの職場でのご活躍を期待しております。



受講生の皆様(閉講式にて)

## 法教育作文コンクール

「第11回法教育に関する作文コンクール」(主催:朝日大学、岐阜法教育研究会 後援:法務省、岐阜県教育委員会、岐阜県弁護士会、NHK岐阜放送局、岐阜新聞社、岐阜放送、朝日新聞社、中日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社)の表彰が行われました。

### ルールの大切さを学べてよかった

小・中・高校生を対象とする同コンクールには141件の応募があり、厳正な審査の結果、8作品が優秀作品としてそれぞれの賞を受賞しました。優秀作品に選ばれた受賞者たちは法教育に対する自分たちの思いや体験をつづった作文を自宅のウェブ画面で朗読、また、受賞者のインタビューでは、「今回の作文応募をきっかけに、ルールの大切さを学べてよかった」との声がかれました。



「法教育作文コンクール」の受賞者

## SDGsを考慮した循環型教育

1月21日に「2021年度第5回FD・SD研修会」がオンデマンドでの動画配信により開催され、参加者約170名はSDGsと教育の関係について学びを深めました。

### SDGsへの真摯な取組みが求められている

サンメッセ総合研究所の田中信康代表を講師にお招きした研修会では、「SDGsを考慮した循環型教育の実践」をテーマに講演をいただきました。教育の現場においてSDGsに対し真摯に向き合い歩みを進めていく必要があることを改めて確認することができた研修会となりました。



田中代表がSDGsと教育の関係を解説

## 頭頸部外科・耳鼻咽喉科とは

朝日大学病院(岐阜市橋本町)の頭頸部外科・耳鼻咽喉科で扱う病気は一般に耳、鼻、副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、気管、食道、唾液腺、甲状腺などの頭頸部疾患やアレルギーなど、その領域と病気の原因は多岐にわたります。

### 安心して受診を

2020年4月に朝日大学病院に開設された当科は、現在、常勤医師2名と非常勤医師1名の体制で診療を行っています。診療の様子(松塚先生:左 長谷川先生:右)です。常勤医師はいずれも耳鼻咽喉科専門医、頭頸部がん専門医、内分泌外科専門医の資格を有し、電子内視鏡やナビゲーションシステムなど最新の検査・手術機器を備え、安全で確実な診療を行っております。また、当科は頭頸部センターに属しており歯科・口腔外科医やスタッフと連携すると共に、かかりつけ医の診療機関や院内関連診療科とも連携し、患者様に寄り添った統合的な診療を目指しています。



診療の様子(松塚先生:左 長谷川先生:右)

#### 長谷川 泰久 教授 (歯学部総合医科学講座外科学)

- ・三重大学医学部卒業、名古屋大学大学院医学研究科修了(医学博士)
- ・頭頸部がん専門医制度指導医、頭頸部がん専門医、産業医、耳鼻咽喉科専門研修指導医、内分泌甲状腺外科専門医

#### 松塚 崇 教授 (保健医療学部看護学科総合医科学講座)

- ・福島県立医科大学医学部卒業、同大学院医学研究科修了博士(医学)
- ・頭頸部がん専門医制度指導医、頭頸部がん専門医、耳鼻咽喉科学会研修指導医、内分泌外科専門医

## ヒットメーカーに学ぶ!商品開発塾

穂積キャンパス5号館講義室で、2月4日に経営学部のマーケティング研究所と岐阜県商業教育研究会が共催する「ヒットメーカーに学ぶ!商品開発塾」が対面とオンラインによるハイブリッド方式で開催され、「ブランド戦略、顧客体験、メタバース(仮想空間)」について、約90名が学びを深めました。

### レッドブルや渋谷の事例から学ぶ

岐阜県商業研究会会長の村山義広岐阜県立岐阜商業高等学校校長と中畑千弘マーケティング研究所長(経営学部教授)の挨拶ではじまった開発塾では、「翼をさずける」のCMで有名なレッドブル・ジャパンでマーケティング本部長として、エナジードリンクのカテゴリーやレッドブルブランドの確立、日本市場での商品PRに尽力された(一社)渋谷未来デザインFUTURE DESIGN SHIBUYA理事・事務次長の長田新子氏を講師にお招きし、「ストーリーと顧客体験が加速させるブランド価値創造～レッドブルや渋谷の事例から学ぶ～」と題した講演をいただきました。



ハイブリッド方式で商品開発塾を開催

## 就職活動スタート

### コロナ禍での就職戦線

大垣フォーラムホテル(大垣市)で、2023年卒業予定者を対象とした「朝日大学就職セミナー」が、2月3・4日に開催されました。

未だに新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威を振るっており、これからの就職活動にも大きな影響が予想されます。このようなコロナ禍の中開催された就職セミナーには、本大学学生の採用に積極的な企業様が出展され、学生にとって最高のマッチングチャンスとなりました。

参加した学生約350名は、真新しいリクルートスーツ姿で企業ブースを訪問。それぞれの企業の魅力を学び、自分に合った企業と仕事を探していました。



各企業から説明を受ける学生

## 新聞を活用し日本語を学ぶ

### ベトナム人留学生「キッズ新聞」で学ぶ

留学生別科日本語研修課程で学ぶベトナム人留学生たちは、穂積キャンパスで日本の大学や専門学校への進学を目指して、日本語の会話や文化を熱心に学んでいます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、対面授業とリモート授業で行われている授業で、日本語の会話がまだ苦手な留学生は、漢字に「るび」が振られた岐阜新聞の「キッズ新聞」を、また、修了間近かの留学生の授業では岐阜新聞の「本紙」を活用して、日本語を学んでいます。

留学生たちは、法学部のボランティア学生のアドバイスを受け、「動物」「高齢化・少子化社会」などの関心が高い記事を切り取って用紙に貼付け、自分の意見を書き込み、グループに分かれ積極的に意見を交換。その後の発表会では、流暢な日本語で「日本の少子化問題は、国が有効な解決策を提案しないとイケないのでは」と提案していました。

ベトナム人留学生と学生ボランティアたちは、新聞活用の授業での交流を通じ、自然に異文化を理解することができました。



新聞記事を通じ互いに意見交換

## 交通安全運動を展開

### 交通ルール遵守を呼びかける

穂積キャンパス東側に設置された横断歩道付近で、年末(12月)と春(4月)の交通安全運動実施期間に合わせ、「交通安全運動」を実施しました。

学生部の呼びかけで、北方警察署、本巣地区交通安全協会、法学部の学生で組織されている防犯団体「めぐる」や体育会相撲部の学生を中心に約70名が参加。朝の通勤通学時間に合わせ、「シートベルトを着用しましょう」・「横断歩道を渡りましょう」と書かれたハンドプレートや横断幕のぼりを掲げ、車両や歩行者に対し「交通ルールの順守」を呼びかけました。



地域の皆様と交通ルール順守を呼びかける

## 公認会計士試験に合格!!

### 9名が短答式試験に合格

令和4年公認会計士試験短答式試験に、体育会会計研究部の部員9名がみごと合格しました。今回の試験では、全国で9,949名が受験し、1,199名が合格(合格率12%)という結果でした。

本大学では、高等学校と大学の7年間で公認会計士試験を含む高度な資格試験に挑戦し合格できるよう支援する「会計教育」を2012年度から実施しています。



公認会計士試験短答式試験に合格

### 日商簿記検定1級では3名が合格

また、第159回日商簿記検定1級試験では、3名の部員が合格しました。今回の試験では、全国で9,194名が受験し、935名が合格(合格率10.2%)という結果でした。

高度な資格試験に挑戦する朝日大学では、経営学部の教育に加え、体育会会計研究部での日頃の真摯な取り組みにより、毎年多くの学生が目標を達成しています。



日商簿記検定1級に合格

## 初の「UNIVAS AWARDS」を受賞

### 文武両道が評価される

(一社)大学スポーツ協会「UNIVAS AWARDS 2021-2022」の「マン・オブ・ザ・イヤー」に自転車競技部の安達光伸選手(経営学部2年:受賞時)、フェンシング部の辻すみれ選手(法学部4年:受賞時)が「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」に選出されました。今回の「UNIVAS AWARDS」受賞は、本大学体育会では初めてとなります。

全国219大学が加盟する大学スポーツ協会から授与されたこの賞は、文武両道を実践し、他の模範となる選手に贈られる栄誉ある賞です。



自転車競技部の安達選手

安達 光伸選手: 4km個人追抜競走で学生新記録樹立ほか

辻 すみれ選手: 東京2020オリンピックで女子フルーレ団体6位入賞ほか

## がんばれトンガ!!

### M6.2の海底地震がトンガを襲う

1月15日に大規模噴火を起こしたトンガ付近の海底火山。津波被害や通信網の遮断により被害の全容把握に時間を要した自然災害に、わが国で起こった東日本大震災の記憶を重ね合わせた人も少なくありません。

朝日大学では、日本と深い関りを持つトンガに対して、心からのお見舞いを申し上げるとともに、地震発生直後から「朝日大学トンガ支援プロジェクト」として「募金活動」を開始しました。

### ラグビーを通じた深いつながり

トンガは、日本の南東8,000kmに位置し、大小170余りの島からなる人口約10万人の島国。日本に輸入されるカボチャの大半がトンガ産で、帰路に就く船舶には日本の中古車が積み込まれ現地で販売、トンガの車のほとんどが日本車というほど、遠く離れていても日本とトンガには深いつながりがあります。また、トンガはスポーツも盛んで、ラグビーワールドカップ日本代表に多くの素晴らしい選手を送り出しており、本大学体育会ラグビー部に在籍し活躍した2名の留学生もトンガが出身でした。



シオネ・ヘマロド・アフエムイさん(2022年3月法学部卒業。NTTコミュニケーションズ・シャイニングアークス東京ベイ浦安とプロ契約し、現在活躍中)

### フェンシング

## ワールドカップ「銀メダル」獲得!

昨夏の東京五輪で「フルーレ団体女子」6位入賞を果たした辻すみれ選手(2022年3月法学部卒業・体育会フェンシング部出身 現:大垣共立銀行)が、1月16日にボズナニ(ポーランド)で開催されたワールドカップ(フルーレ団体女子)において、みごと2大会連続の銀メダルに輝きました。

辻選手の益々のご活躍をお祈りいたします。



銀メダル獲得で笑顔の辻選手(いちばん左)

# NEWS

## 2021年度卒業式を奉行

2021年度卒業式(3月11日(金)・12日(土)、穂積キャンパス6号館大講義室)で、「宮田賞」の授与が行われました。

本学の創立者である宮田慶三郎先生の素志により制定された「宮田賞」は、在学中の学業成績が特に優れた者や課外活動に貢献し本学の名誉を昂揚させた者を対象に表彰するものです。受賞者(7名)には「表彰状」と「記念プレート」が宮田淳理事長から贈呈されました。



宮田賞(記念プレート)を授与される受賞者

受賞者たちの今後の活躍が大いに期待されます。

【宮田賞受賞者】

法学部法学科	水沼 ひかる 辻 すみれ
経営学部経営学科	山田 彪博
保健医療学部看護学科	西原 蒼衣
保健医療学部健康スポーツ科学科	當銘 咲星 北河 拓実
歯学部歯学科	久保田 理絵

### 羽ばたけ建学の精神を胸に

また、各学部長・学科長からの挨拶があり、大友克之学長からは、朝日大学を旅立つ卒業生たちへのはなむけの言葉として「建学の精神」が贈られました。

式典終了時には参列者全員が拍手で卒業生たちを見送り、厳粛であった会場内がたちまちに温かい雰囲気になりました。



## 穂積キャンパス正面が生まれ変わる!

2022年3月に、穂積キャンパス正面アプローチと中庭通路が生まれかわりました。

正面アプローチは一新され、これまで歩きづらかった中庭通路等の整備を行いました。

多忙な日々を過ごす中で、中庭で自然に触れてみてはどうでしょうか。新たな発見があるかもしれません。

(現在の正面アプローチ)



(整備前)



(現在の中庭通路)



(整備前)

